

# 平成27年度 科学技術重要施策アクションプラン の進め方について（案）

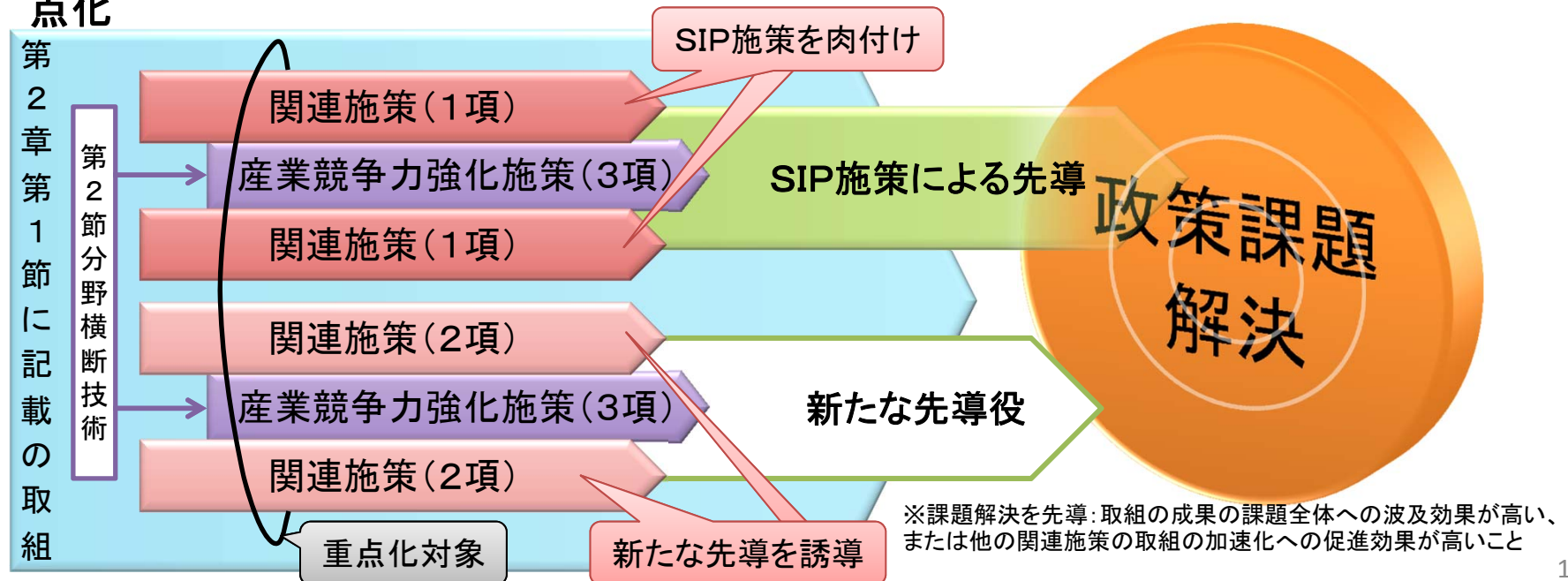
～S I P 施策を課題解決の先導として～

平成26年6月26日

# 平成27年度アクションプラン基本方針

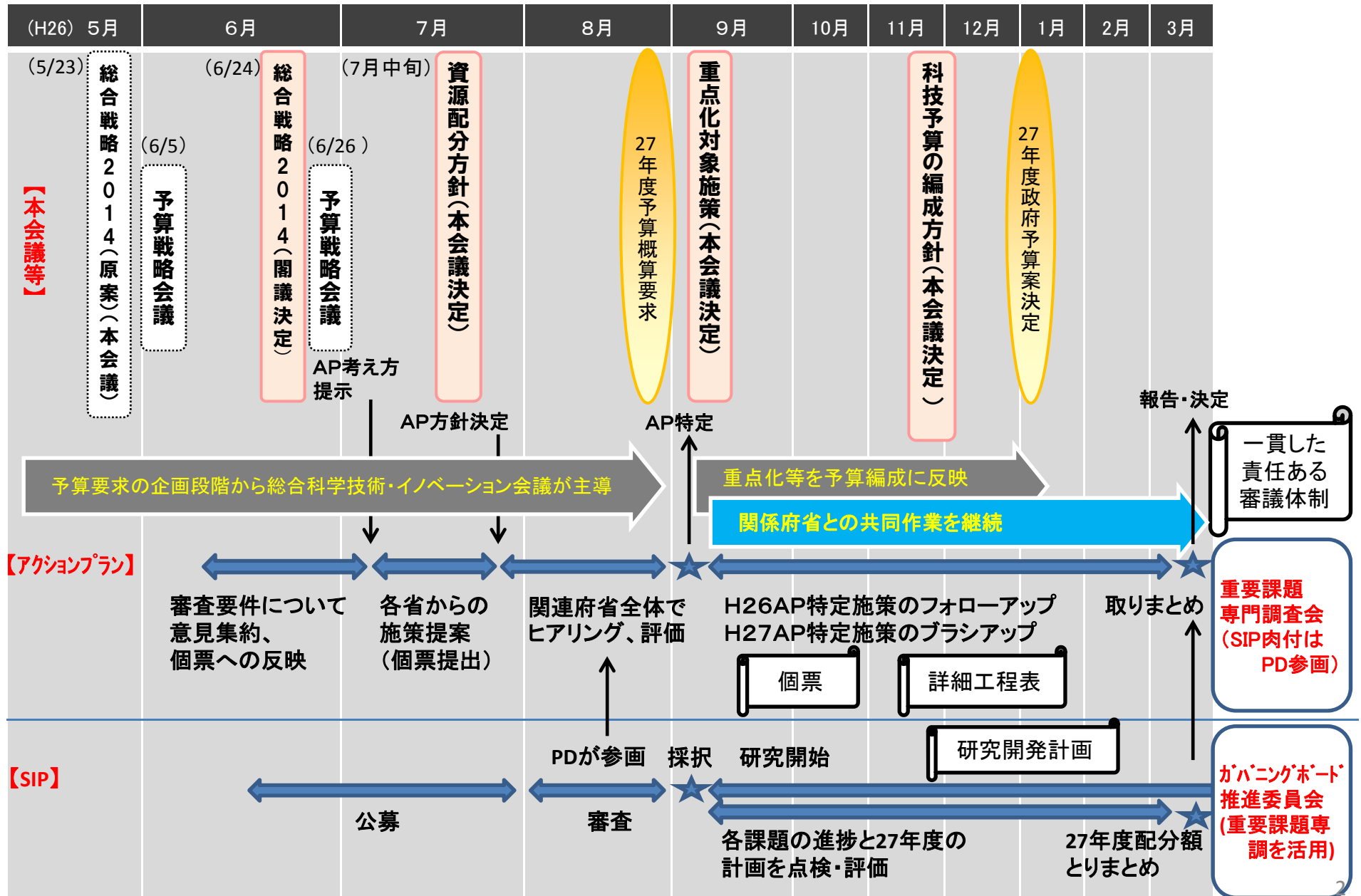
昨年の取組をさらに進化させ、**府省横断で政策課題解決を先導する体制を構築することを基本方針とし**、以下により連携施策を構築(1項、2項)、さらにその中に産業競争力強化のための源泉を埋め込む(3項)

1. 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)について政策課題解決を先導するものとして位置づけ、**これを補完し課題解決に相乗効果をもたらす**関連施策の重点化
2. 1に加え、**政策課題解決を先導するものを誘導するため、各府省の施策を「大括り化」**して重複排除、府省間の事業調整・役割分担(責任省庁の特定を含む)の明確化を図った関連施策の重点化
3. 上記1、2において、**分野横断技術については5つの政策課題解決への明確な出口戦略を関係府省と共有し、産業競争力強化のための源泉を埋め込む**関連施策の重点化



(注) 健康医療分野に関しては、健康・医療戦略推進本部の下で推進する。

# 年間を通じたアクションプラン(SIP含む)プロセスの導入、一貫した審議体制等の構築



# 個票及び詳細工程表を用いた年間PDCAサイクルの確立

## 個票

各府省からの施策の提案については個票の形で受け、概算要求前の特定の審査とともに、特定施策をより良いものにしていくための継続した議論に活用する

### 個票記載項目(抜粋)

#### 提案施策の実施内容(社会実装までの取組)等

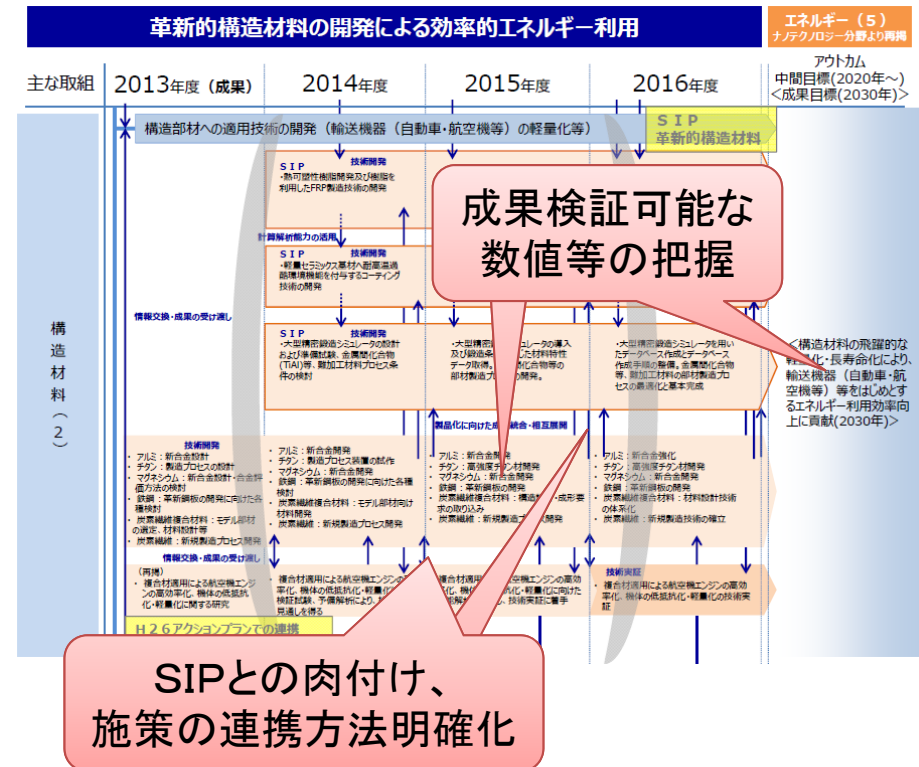
- 施策の概要
  - 取り組みの意義、当該分野の技術全体の中での施策の位置づけを含めて記載
- 最終目標(アウトプット)
  - 社会実装を見据えた具体的なアウトプット(実現レベル、具体的な数値等)を設定し、定量的な達成目標(2020年、2030年)及び達成時期とその根拠
- 社会実装の姿(アウトカム)
  - 施策が狙っている市場・ターゲット及びそれらが求めている価値、成果活用先(候補)を中心とした具体的なビジネスモデル、期待される効果とその根拠
- 社会実装に向け取組むべき事項
  - 法制度改革や社会受容性の促進など、具体的に取組むべき事項とその方針、また国際的アプローチについても記載
- 国費投入の必要性、事業推進の工夫(効率性・有効性)
  - 行政事業レビューに対応した点検項目をあらかじめ確認
- 実施体制、府省連携等
- H26AP助言内容及び対応(継続施策のみ)
  - 各戦略協議会・WGにてとりまとめたH26AP助言のフォローアップ
- 第3章科学技術イノベーションに適した環境創出の反映
  - 本施策推進にあたって適合する項目及びその内容

#### 過去2年間の検証可能な達成目標、取組及び成果

#### 今後3年間の検証可能な達成目標及び取組予定

## 詳細工程表

科学技術イノベーション総合戦略2014(別表)詳細工程表に、SIPとの肉付け、施策の連携方法や、成果検証可能な数値等を個票より反映し、これを用いて予算と直結した年間のPDCAサイクルを確立する



## SIPの平成27年度施策に関する考え方(仮)

(1) 「科学技術イノベーション創造推進費」は、初年度(平成26年度)と同様、目未定調整費として平成26年度予算額と同規模で要求(調整中)。

(2) SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)に関しては、

①10課題のコアとなる研究項目、出口戦略等を重視し、内容・体制を精査・改善。

○各省庁が取り組めるものは各省庁の予算で実施し、科学技術イノベーション創造推進費は内閣府が関与しなければ実現できない事業に充てる。

○7月～来年3月にかけて、各課題の推進委員会、戦略協議会、ガバニングボード及び外部有識者による評価の場などを活用し、各課題の進捗と次年度の計画の点検・評価等を行う。

○平成27年度の各課題への配分額は、平成27年度予算成立後すみやかに決定予定。

②新規課題を検討。必要に応じ追加または入れ替え。

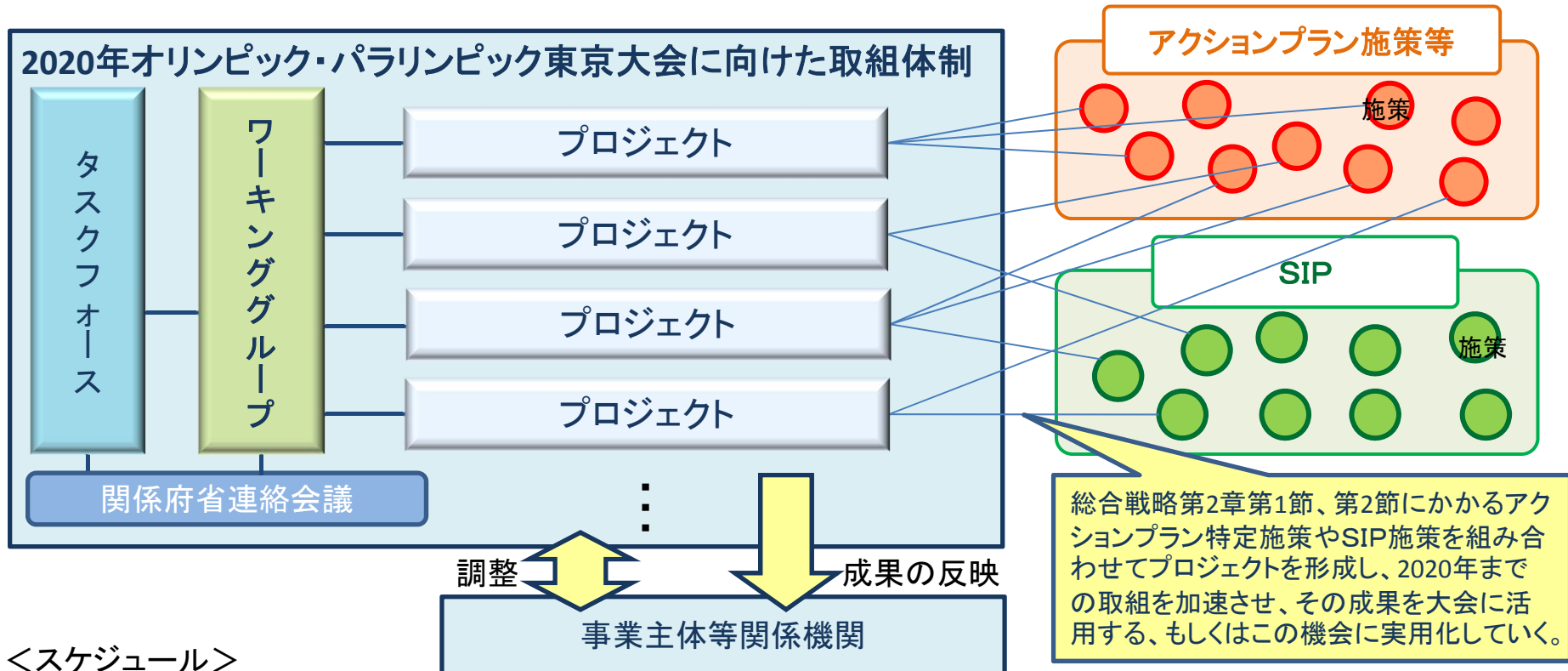
○社会的課題の解決、産業競争力の強化の双方に寄与する重要課題を今後抽出。

○新規課題に関しては、具体的な成果のイメージ(将来の市場規模、日本企業のシェアや雇用創出効果等の定量的な予測を含む)や出口戦略を描ける必要がある。

(注) 健康医療分野に関しては、健康・医療戦略推進本部の下で推進する。

# 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けたプロジェクトと アクションプラン特定施策、SIP施策との関連性

大会での(一部)実用化を現実的な出口とすることから、2020年に向けて取組が明確であることが求められ、その観点から課題解決を先導するAP特定施策、SIP施策を組み合わせることを基本とし、タスクフォースにおいて、施策間の連携内容、必要な規制改革等の制度改革、全体調整した工程表等を検討し、プロジェクトを形成する。



## <スケジュール>

(H26) 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	関係府省連絡会議									
		タスクフォース開始(次回以降適宜)								
		東京都等との調整	SIP、AP特定施策を活用したプロジェクト検討					プロジェクト形成		